

北陸3県の
いて意見交

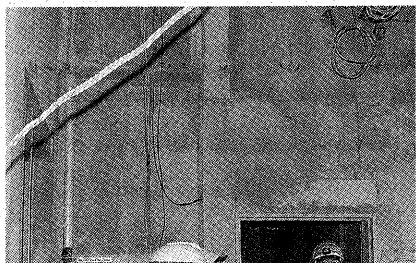
まず、北陸地方の社会資本整備と地方建設業の振興では、社会資本整備は中長期的な視点に立ち、計画的かつ着実に整備を進めることが重要で、必

を応援するためのホームページも順次拡大、全国に向けた情報発信を強化していると報告した。担い手を育成・確保するための最低制限価格の

ホテル森の風立山四季彩

東日本ハウス(東京都 幸社長)がホテル森の風立山に計画の「四季彩」

新築工事は、設計・施工ともに直営で着工した。ホテル隣接地の約4300平方メートルに、W造平屋建て6棟11室の和風宿泊棟を建設する。客室は4189平方メートルの4タイプで、各部屋に天然温泉の露天風呂やウッドデッキなどを設ける。ホテル周辺の約3万平方メートルは花畑や散策路を整備する。15年4月の完成を予定している。



新日本コンサル

独自の工夫で北陸モデル構築

八尾ソーラーパワーが竣工

あいさつする市森社長



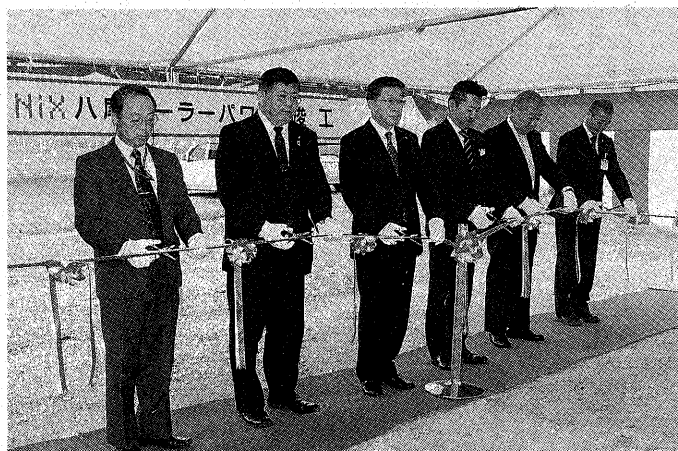
採択された。20年間にわたる事業で、企業として事業継続性が高まるモデルを立ち上げた」と述べ、「日本海側におけるデメリットを克服するた

め、施工業者と協力、知恵を出し合いながら事業展開できるモデルを構築できた。条件的に厳しい場所でもできるという点に着目し、しっかりと実施していきたい」とあいさつ。来賓の老月邦夫富山副市長(市長代理)が、「本市は人や地球環境にやさしい取り組みを推進、国連のエネルギー効率改善都市として評価された。そうした中でこのメガソーラー建設は大変意味深く、自然エネルギーのさらなる普及に貢献するものとして大いに期待を寄せる」と祝辞を述べた。その後、市森社長から老月副市長へ記念品を贈呈、施工を担当した佐藤工業の金子政史北陸支店長に感謝状が手渡された。



完成したメガソーラーの航空写真

新日本コンサルタントの子会社・ニックスニューエネルギー(富山市吉作 市森友明代表取締役社長)が富山市八尾町上笹原地区で整備を進めていた「Nix八尾ソーラーパワー」がこのほど完成し、20日に現地で竣工式が執り行われた。式典には同社社長、富山市、施工業者、地元自治会ら約30人が出席。神事では玉串を捧げ、無事の完成を感謝した。



関係者によるテープカット

竣工式で市森社長は、「本事業は、富山市の環境モデル都市行動計画に基づき施策の一環として公募を経て

実施は、北陸地域の少ない日射、積雪、分散地の「3重苦」を克服するため、同社独自の工夫として、高性能の最新型6

30キロワット容量のパワーコンディショナーを2台採用、最適なパネル配置を見出すことで効率的な発電量を得ることを可能とした。また、地盤特質を活かした地中打ち込み式積雪対応架台の採用により、大洋洋側と同レベルの大幅なコストダウンを実現した。発電出力は1260キロワット、年間では約300世帯分相当の約1233メガワット時を発電。10月1日に運転開始。同社におけるエネルギーマネジメント事業の稼働発電所第1号となる。

来月14日に開催

入善土木管内優良工事

東部土木振興会

東部土木振興会(会長 堀内康男黒部市長)は11月14日、黒部市民会館2階大ホールで14年度富山県入善土木センター入善土木事務所管内優良土

27日まで申請受付

山田工区水路1

県富山農林

富山県富山農林振興センターは20日、富山市山田若土地内「中山間総合整備富山広域地区山田工区6-2水路第1工区工事」を、条件付一般競争入札で公告した。

27日まで申請書を受け付け、11月11日に開札する。参加資格は同センター

木工事の表彰式を開催する。

管内における土木工事の建設技術の向上と適正な施工を目的に毎年開いているもの。

同土木事務所発注の3000万円未満の工事と、黒部市、入善町、朝日町発注の工事が対象となる。